学校教育目標　すすんで学ぶ子　やさしい子　たくましい子

みどりが丘小だより

11月号

令和8年10月30日発行
小川町立みどりが丘小学校

「かがやけ　光れ　み小魂」

校長　舩田真由美

日足もずいぶん短くなり、朝夕の冷たい風に冬の足音が近づいてくるのを感じる季節となりました。気付けば2学期も折り返し地点。修学旅行や校外学習など、様々な経験を通して子供たちが一歩一歩成長していることを実感する毎日です。

さて、今年度の運動会は、直前のインフルエンザ流行に伴い、延期という苦渋の決断を余儀なくされました。楽しみにされていたご家族の皆様には、ご心配とお手数をおかけいたしました。急な日程変更にもかかわらず、ご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。

振り返ればここ数週間、校庭や体育館からは連日、表現（ダンス）や組体操の音楽とともに、子供たちの威勢のよい掛け声や赤白それぞれの熱のこもった応援の声が心地よく響き渡っていました。教えられた演技や技をしっかり自分のものにしようと真剣に練習を重ねる姿。休み時間も応援等の練習を重ねる姿が見られ、本番に向けて全校の気持ちと熱気はまさに最高潮へと高まっていました。そこへきての「延期」。子供たちにとって、大きなショックだったはずです。特に、小学校最後の運動会に向けて並々ならぬ思いで準備を重ねてきた6年生の気持ちを思うと、「延期」を決定することは、本当に胸が締め付けられる思いでした。

しかし、こうした**予期せぬピンチの中で、子供たちと教職員は素晴らしい強さを見せてくれました。**

延期が決まった直後、気持ちが途切れそうになっていた6年生に対して、6年担任はあえて**「この延期を、プラスに捉えられることって何かあるかな？」**と問いかけていました。ショックを受け止めさせた上で、自らの力で前を向かせようとする教職員の温かい関わり。その素晴らしい姿に倣い、私も5年生の子供たちに**「延期になって、よかったことって何かあるかな？」**と尋ねてみました。すると子供たちからは、**「楽しみが少し先延ばしになってよかった」「もっと練習ができる」**という言葉が即座に返ってきたのです。どこまでもたくましい子供たちの姿に、私は感動しました。

今年度の**運動会のテーマは『かがやけ　光れ　み小魂』**です。これは、4年生以上の代表委員が各クラスの思いを集め、代表委員会で話し合って決めた大切なテーマです。全校児童の思いが込められています。テーマを決めた時にはきっと、**本番に向けて輝く姿（み小魂）**を思い描いていたのだと思います。けれど、今回は予期せぬ「ドラマ」がありました。**突然の予定変更に直面した時、置かれた状況を肯定的に捉え直し、「顔晴れ（がんばれ）」と前を向いた子供たちの姿。そこにもまた、確かな「み小魂」を感じます。**

子供たちはこれまで、自分自身の力を磨く「努力のたし算」を重ねてきました。延期によって生まれた時間は、その「たし算」をさらに確かなものへと高める恵みの時間となりました。こうして十分に高められた一人一人の力が合わさる運動会本番当日。「協力のかけ算」によって生まれるパワーは、きっと計り知れないものになるはずだと思います。

みどりが丘小の子供たちには、これから先の人生、思い通りにいかないことに出合ったときに、それをしなやかに受け止め、自らの力でプラスに変えていって欲しい…。この1か月間、運動会に向けてひたむきに練習を重ねてきた子供たちの様子を見ながら、私はそんな願いを抱きました。

子供たち一人一人が自分の足で立ち、仲間と共に輝き続けられるよう、これからも、みどりが丘小教職員一同、心を一つにして子供たちを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き変わらぬご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【追伸】 運動会当日の様子は、後日発行の『運動会特別号』にて写真とともにお伝えいたします。楽しみにお待ちいただければ幸いです。

11月の生活目標

体をきたえよう

緑人（みどりんちゅ）
―― みどりが丘を大切に思う人 ――

「かっぱ捕獲免許」を手に日本全国を旅する冒険家のわかば2組担任と、一枚の紙から素晴らしい作品を生み出す折り紙名人のわかば副担任。今月は、そんな『才能あふれる個性派』の二人に、【み小の子供たちのよさ】と【子供と向き合う時に大切にしていること】を聞いてみました。

教諭（わかば2組担任）

・み小の子供たちのよさは、どんな時でも元気ハツラツ。外遊びが大好きなところです。
・私が大切にしていることは、 一人一人の目線に合わせてしゃがんで話を聴くことです。

教諭（わかば副担任）

・み小の子供たちのよさは何事にも全力で取り組むことです。
・私が大切にしていることは、 子供たちの姿をよく観ることです。

みどりが丘写真館


【1 年】秋を探しに長谷公園へ


【6 年】酸とアルカリ実験


【3年】学級会～感謝の会をしよう～


【4年】教育実習生と道徳の学習


【5年】平和資料館の先生と平和学習


【6 年】酸とアルカリ実験

POK　POKA　エピソード１

竹沢小学校の６年生と合同で実施した修学旅行。最初は少し緊張気味だった子供たちも、すぐに打ち解けて笑顔で声を掛け合い、最高の思い出を共に作ることができました。

学校の垣根を越えて助け合い、絆を深めた子供たちの素敵な姿に心がぽかぽかと温かくなりました。



POK　POKA　エピソード２

日常のさりげない優しさや感謝を伝え合う「思いやリーフ」。校内には「一緒にあそんでくれてありがとう」「大丈夫？って心配してくれて嬉しかった」などの言葉があふれています。

思いやりの木は仲間を思いやる優しさであふれています。



POK　POKA　エピソード３

学校運営協議会委員の岡野様が、無事な実施を願い心を込めて編んだ「かぎ編みのてるてる坊主」を届けてくださいました。「てんきになあれ」のメッセージも添えられていて、たっぷりの愛情を感じました。子供たちの安全と輝く笑顔を願う温かいお心遣い。

いつも子供たちのことを真ん中に置き、寄り添い続けてくださる岡野様をはじめ学校応援団、地域の皆様に心より感謝申し上げます。



POK　POKA　エピソード４

中庭のミカンの木に実がたわわに実り、各クラスでミカン狩りを楽しみました。 手にしたもぎたてのミカンから広がる爽やかな香りに「いいにおい！」「おいしそう！」と笑顔を弾ませる子供たち。実りの秋と子供たちのぬくもりにあふれた、ぽかぽかあたたかなひとときでした。



